

2023年度 法科大学院

第4期入学試験問題

3時限

刑法

(論文式)

試験時間 50分

注意事項

1. 試験開始の合図があるまで、この問題冊子の中を見てはいけません。
2. この問題冊子の1ページから問題が掲載されています。
3. 試験時間中に問題冊子の印刷不鮮明、ページの落丁・乱丁及び解答用紙の汚れ等に気付いた場合は手を挙げて監督に知らせてください。
4. 解答用紙には解答欄以外に記入欄がありますので、監督の指示に従ってそれぞれ正しく記入してください。
5. 解答は、必ず解答用紙の解答欄に記入してください。解答用紙の解答欄以外に記入された解答はすべて無効とします。解答用紙の裏面を使用する場合は「裏面に続く」と記載してください。
6. 解答用紙は各1枚しか配布しません。複数枚請求されてもお渡ししません。
7. 貸与した六法以外の参照は一切できません。
8. 試験問題の内容等について質問することはできません。
9. 問題冊子の余白等は適宜使用してかまいませんが、解答用紙の解答欄以外に記入された解答は無効とします。
10. 試験終了後、問題冊子は持ち帰ってください。

[刑法]

次の事例における甲及び乙の罪責について論じなさい。

事例

- 1 甲及び乙（ともに25歳）は、証券会社A社に勤務しており、顧客に株券等を販売する営業を担当していた。甲及び乙は同期入社であり、一緒に飲みに行くなど仲が良かった。甲及び乙には、上司V（45歳）がおり、営業マンの営業成績が悪いと、他の社員の前で罵倒するなどパワハラが酷かった。令和4年9月の甲の営業成績は特にひどく、他の社員の前で、Vから頻繁に酷く罵倒され、精神的にも相当参っていた。
- 2 同年10月初旬、甲は、Vの自宅（以下、V宅という）に赴いて、Vに謝罪させようと考えた。甲は、Vが簡単に謝罪することはなく、V宅に赴けば必ず喧嘩になるだろうと思いつきながら、その機会にVを殺害しようと考え、刺身包丁（刃体の長さ約15センチメートル）を用意した。また、甲は、乙に対し、刺身包丁を持って行くことは秘し、「今度、V宅に行き、これまでのパワハラ行為を謝罪させるつもりだ。でも、もしVと喧嘩になったら加勢してほしい。」と依頼した。乙は、常に営業成績がよく、あまり気が進まなかったが、仲の良い甲の依頼であったので、喧嘩の加勢くらいはしてやろうと考えてこれを承諾した。
- 3 令和4年10月15日土曜日午後8時頃、甲及び乙は、V宅に赴いた。Vは、両親から相続した一軒家に居住していた。甲は、玄関先でVを呼んでも出てこないの、裏の勝手口に回った。乙は、玄関先で待っていたところ、出てきたVが乙を甲と間違えて、いきなり乙を鉄棒で殴り掛かってきた。乙は、Vの攻撃を防ぐために、玄関先の傘立てに差し込んであったゴルフクラブでVの後頭部を数回殴打した。その際、乙は、ゴルフクラブでVの後頭部を数回殴打すれば、Vが死亡するかもしれないが、それでも構わないと思っていた。
- 4 Vは、乙からゴルフクラブで後頭部を数回殴打されたことにより、脳挫傷の傷害を負い、玄関先に倒れ込んだ。乙は、Vのそのような様子を見て怖くなり、甲に何も告げずに、玄関先から逃走した。甲は、乙とVが激しく争っていることが分かったので、勝手口から逃走した。激しい言い争いに気付いた近隣住民が、V宅に駆けつけたところ、玄関先に倒れているVを発見し、すぐに119番通報をして救急車を呼んだ。Vは、搬送先病院の懸命な治療行為により一命を取り止めた。

以上